

## AOYUZU -Salon de Digital- 第7回 講演概要

2022年6月15日開催「AOYUZU-Salon de Digital-」第7回の講演、第2部の概要をご紹介します。



東京海上日動火災保険株式会社  
IT企画部  
ビジネスプロセスデザイングループ  
課長 太田浩輔氏



東京海上日動火災保険株式会社  
IT企画部  
ビジネスプロセスデザイングループ  
西山正晃氏

モデレーター：

出光興産株式会社 執行役員 CDO・CIO  
情報システム管掌(兼)デジタル・DTK推進部長  
三枝 幸夫氏

「現場社員による“ラストワンマイル”業務の効率化」と題し、東京海上日動火災保険株式会社における、Power Automateの活用による「個人の成長」を「会社の成長」につなげる事例を紹介いただいた。

### 【概要】

東京海上日動火災では、現場社員による業務効率化をPower Automateの活用により実現した。その結果、「自ら課題を見つけ解決できる人材を増や」し、「ノーコード/ローコード開発を進展させることで、IT部門とビジネス部門の垣根をなくしていく」ことの必要性を確信した。全社展開はまだスタートラインに立ったばかりである。今後もデジタルを活用することで、「社員の意識」、「会社の文化」を変えていきたい。

### ● 問題意識

急速な社会環境の変化に対応するためには、デジタルの活用による「個人の成長」を実現し「会社の成長」に繋げることが不可欠と考えた。

### ● 具体策

Power Automateで「ラストワンマイル業務の効率化」を実現し、投資効果の薄い業務を自ら解決できる組織に変える。

### ● 導入スケジュール

- ① 導入期（約2か月） IT部門内
- ② トライアル期（約4か月） 本社の一部部署
- ③ 規模拡大期（約1年：現在） 東北展開→全国

### ● 大切にしていること

#### ① コミュニティを作り、定着に向かって地道に取り組む

部門を越えた開発者のコミュニティの運用（TEAMSの活用）、セミナーやQAの徹底、研修資料の作成、アプリ開発と展開推進方法の両面からのサポート、等を実施した。

#### ② 現場社員と共にプロジェクトを進める

社内副業制度を利用し、ビジネス部門の現場メンバーも社内推進プロジェクトに参加。原則フルリモートで週半日程度。また、単なるツールの利用ではなく、プロセスの再構築を目指す。

現場社員が参画することにより、現場ニーズをダイレクトに反映した開発ができる、生の声をリアルタイムに把握・反映できる、現場感覚を活かした展開ができる、などのメリットがあった。

#### ③ 仲間を作り、連携しながら進める

社内ONE TEAMを目指し、また、組織・会社全体に浸透させるため、社内外の仲間作りを進める。そのためにTeamsをフル活用し、IT部門、社外ベンダー、ビジネス部門（現場社員）、社内他部署とコミュニケーションを図った。

### ● 今後の展望

使ってもらうための取り組みが大変。そのため、Power Platformファミリーの検討、ツールの活用・浸透、開発者からの照会・相談へのスムーズな対応、教育プログラムのコンテンツ追加と改善、などが課題である。

本件に関するお問い合わせ先：

IIMヒューマン・ソリューション株式会社  
03-4333-1111 / web@iimhs.co.jp